

編集後記

本年も『別府史談』第二十五号を予定通り発刊できました。論説には連載二編と神社関係二編及び民衆の視点で見なおした西南戦争論の研究成果が寄せられました。連載は明礬製造史その三と、炉辺史話第五話です。

明礬をつくるは和明礬生産量第四位の島原の地まで進みました。炉辺史話は井上馨の千辛万苦の場で井上馨と別府の関わりを知ることができます。神社関係は神社の設立の歴史と合併の歴史です。西南戦争論は新しい視点で興味を引きます。

講演会講師論稿では、外山健一氏と真野和夫氏に、ご講演内容をまとめていただきました。

史跡探訪及び関連資料は研修部を中心にまとめたものです。参加できなかった方も誌上探訪を楽しんでください。

会員だよりでは川柳研究が寄せられました。

郷土史探訪では史跡探訪をした観海寺堀田に関する研究を取り上げました。今後共、会を挙げて眠れる文化財の再発見にも取り組みたいと思います。

(会誌担当)

別府史談 第二十五号

(非売品)

発行人 別府史談会

会長 後藤重巳
☎〇九七七一六六一〇五三

編集 別府史談会事務局(会誌担当)

発行年月 平成二十四年三月

印刷所 別府市亀川東町四番二〇号

株式会社クリエイツ
☎〇九七七一六六一三六七六